

◆国民健康保険 (事業勘定)

現在策定を進めている※データヘルス計画に基づき、被保険者の皆さんの健康増進を図り、医療費の抑制を図ります。また、平成30年度から始まる新たな国保制度の準備を進めます。

◆国民健康保険 (直診勘定)

東北大学大学院歯学研究科との協定により、歯科診療及び口腔ケアの充実に努めます。また、常勤医師1名体制であることから、僻地医療支援機構の拠点病院に支援をお願いし、代診医師の派遣確保に努めます。

◆簡易水道

安心安全な飲料水を供給するため、各浄水場の修繕や維持管理をするための予算を措置しました。

◆町営バス

本年4月の賑わい拠点施設のオープンに合わせ、関内内循環路線の追加と既存3路線のダイヤ改正を行って利用者の利便性向上を図ります。

◆公共下水道

脱水汚泥の放射能検査を定期的に実施し水質管理にも十分注意を払い、水源の町にふさわしい水質環境保全に努めます。

◆介護保険

サービス利用者の増加に伴い給付費が増加していることから、介護予防、日常生活支援総合事業の推進を図ります。また、第6期計画が最終年度となることから、平成29年度中に第7期介護保険事業計画を作成し、利用者のサービスに努めます。

◆介護サービス

高齢者生活福祉センターの指定管理委託事業と、高齢者に対する総合相談窓口としての地域包括支援センター、居宅介護支援センターを設置し、介護予防事業及び介護サービス利用のケアプラン作成業務を実施します。

◆後期高齢者医療

平成29年度の被保険者数を484名と見込み、保険者である「宮城県後期高齢者医療広域連合」と一体となり事業を進めます。

◆七ヶ宿ダム自然休養公園

パークゴルフ場の増設を行うために必要な予算措置を行いました。本町東側の玄関で交流人口拡大の起点としての環境整備を進めてまいります。

ふるさと交流体験館

村上満議員

旧湯原小のふるさと体験交流館について、地域住民との連携は今後どう進めていくのか。

答 町長

そば打ち教室や農業体験、地域資源を活用したプログラムなどで地域とのかかわりを持っていくという計画を進めていきたい。

問 菅原研治議員

ふるさと体験交流館などの施設は、地方創生事業の中で補助がつくということは国から実績を求められる。どうやって実績を積み上げていくのか。

答 町長

交流人口の増加数、あるいは本町に移住定住してくる若者の増加数が実績の物差しかと思っている。

関係保育所

村上満議員

保育所が建築されて30年ほどが経っているが、建て替えが必要ではないか。

答 町長

随時修繕を加え、安心安全な保育ができるよう29年度中に計画をまとめたい。

地域おこし協力隊

菅原研治議員

新たに募集する地域おこし協力隊に携わってもらう分野は。

答 町長

1人は地域ブランド推進担当として商工会で農林産物の販売や商品開発に携わっていただきたい。もう1人は、地方創生事業の中で陶芸の里を目指そうという計画があるのでそちらに携わっていただきたい。

保・小・中・連携教育

梅津政志議員

保、小、中、連携教育に向けた小中一貫学校の年次計画などは具体的にできているのか。

答 町長

平成29年度中に意見の集約を行い、平成30年度後半に実施設計。遅くとも32年には着工したい。

文化財保護

梅津政志議員

湯原の御館に関して29年度も予算措置されている。町や県の文化財指定についてどういう形で進めていく予定なのか。

答 町長

湯原館の絵図面が発見され、現在の湯原館の現状とその絵図面が一致しているため信憑性が高いものという評価を受けている。それに基づいて測量をし、報告書を作成するところまでは明年度の事業として実施する計画である。その後は町の文化財保護として管理していくのか、県の文化財保護として管理していくのか、その報告書をもって判断していきたい。



▲高齢者生活福祉センター

※データヘルス計画とは
診療報酬明細書や特定健診などのデータに基づき、被保険者の健康管理や疾病予防、重症化予防などを効率よく行うための保険事業計画。



▲七ヶ宿小学校